

## PTA2023オリエンテーション挨拶

本日は、みなさん、お集まりいただきありがとうございます。  
本年度PTA会長をします守山です。どうぞよろしくお願いいたします。

本日、私からはPTAのボランティア性というのがどういうものかということ、それと今年度のテーマについてお話しします。

PTAはボランティア団体です。

それはどういうことかということ、会員それぞれが、それは自己愛へのこだわりを超えたところ、その超えたところで自らの主体性で活動をするということです。  
ここで自己愛と言われてもプレッシャーを感じますしわかりにくいので、自己愛をプリンと言い換えます。  
そうすると、言い直してみると、PTA活動とは、それはプリンへのこだわりを超えたところ、その超えたところで自らの主体性で活動をするということです。

例えば、ここに集まった時に、受付でプリンを配っていたとします。  
一般的な先入観だと1人一つですよ。  
ところが、2つもらっている人もいるし、もらえてない人もいます。  
なぜかはわかりません。  
プリンを2つもらっていても、もらってなくても気にせずに、そこを超えたところからスタートということです。

そして、人によって、PTAに対するこのプリンを超えたところの分量が違ってきます。  
ある人は、その分量がたくさんあって、ある人は、その分量がちょっとだけだったりします。  
それで、活動するのは、そのプリンを超えたところを使ってしまうので、人によって分量の差があります。

なので、みんな同じだけの活動量にすれば平等という考え方はやめましょう。  
そうすると、自分で持っている分量を超えた活動量になると困ってしまうからです。  
みんながそれぞれ持っている分量分できればOKということにしてください。

そして、今、プリンと言っていますが、もっかのところ、自身のプリンが満たされないため、ちょっとそれどころではないです、まず私にも一つください、それからです、というタイミングの方もいるかと思えます。  
仕事で失敗して落ち込み中ですか。  
そういう状況の人は、プリンを超えたところの分量の活用、そのものがないピンチです。  
その場合、私ピンチです、と言ってくれればいいのですが、そういう場合、本人はピンチとは言いません。  
ですので、みんな活動していて、活動量が少ない人がいたら、ピンチなので休み中くらいに思って、その人以外で進めてもらえればと思います。

特別非難したり改善を要求したりする必要はありません。  
復活した時に、その人の持つてる分のプリンを超える分量を取り組んでくれるでしょう。

他にもプリン以外に、社会的事情、家庭的事情は発生しますので、その時も、その人の活動量は減ります。  
それも気にせず、他の人で進めるようにしましょう。

こんな感じで進めていきますので、活動量が減っている人が増えすぎると、止まるのですが、止まったら今年は諦めましょう。  
完全に止まる前に、周りの人、本部、そして私に相談してみてください。

さて、PTAの進歩を得るために、2023テーマを設定しました。

1. 学校を知る
2. 保護者全員にアプローチ
3. 生徒に価値を  
です。

1. 「学校を知る」は大切です。

中高になると、生徒経由で学校のことを聞かないという家庭も増え、  
また、武蔵は近所の生徒の集まりでもありませんし、  
そして、進学校というところもあり、保護者には既に理解不能な学びのカリキュラムに取り組んでもいたりして、

わからないことも多いですよね。

時代も我々自身が中高生だった時から30年が過ぎました。

いろいろと異なります。

生徒の直面している事情も異なりますが、先生の直面している事情も異なります。

学校は生徒の学力、経験を高めるために高度に効率化されていて保護者に噛み砕いてわかるように説明してくれないこともあります。

そんな中、学校を知ることを労少なくよりしなやかにできると、保護者としてゆったりと構えて生徒の成長を見守れますね。

これが促進されるようにしていきたいと考えています。

これは現場レベルでいうと、コミュニケーション不足によるボタンの掛け違い、  
コミュニケーション能力がなかったためにコミュニケーションできなかった、ストレスフルということも削減されます。

保護者にゆるやかに学校を知る機会、様子を知る機会を用意できることが、  
自然に学校、家庭のチーム力を高め、生徒の教育向上に貢献できると思っております。

2. 「保護者全員にアプローチ」も大切です。

大まかに言えば、夫さんの参加を増やすということです。

夫さんとは、旦那さんのことです。

最近、ご主人、旦那さん、奥さん、嫁という言い方には別のニュアンスがあるということで、  
避ける動きがありますね。若者では、夫さん、妻さん、という表現も使われているそうです。

ここでも、夫さん、という表現にします。

夫さんがPTAに意識を向けることで、みなさんの夫さんが役員になってくれます。

役員になりたい人が不足している中、職場で鍛えまくっている夫さんが大勢役員として参加してくれるとありがたいでしょう。

これは、夫さんばかりにして妻さんをなくすということではありません。

適度なバランスを保つということです。

PTAは婦人会相当で男性はおやじの会という区分ではないということです。  
委員会、部会の活動も、夫さん、妻さんの両方にアプローチできることを考えてみてください。

3. 「生徒に価値を」も大切です。  
PTAの目的は会則によると、  
「生徒の教育の向上をはかり、その福祉を増進する」  
ということと、  
「会員相互の親睦と理解を深める」  
です。  
こちらは、我々会員にとって全員、合意できる目的ですよ。

1つめに「生徒の教育の向上をはかり、その福祉を増進する」と言いましたが、  
福祉とは、等しくもたらされるべき幸福のことを言います。  
何かモノとか時間とかプリンとかが等しい、平等というだけでなく、生徒に平等に幸福がもたらされるようにしようと言っています。  
幸福というのは、心が満ち足りているさまです。  
委員会、部会としては、この生徒の心が満ち足りるところが最終的な着地点で、  
それへのプラスの活動になっているかどうかというのを、活動基準に考えてもらえればいかと思います。

2つめに「会員相互の親睦と理解を深める」と言いましたが、  
こちらは、保護者の心が満ち足りれば、生徒の心も満ち足りるでしょう、ということかと思います。  
ですので、こちらの場合は、保護者を經由して生徒に価値を提供しますので、こちらでもよいかと思います。

以上、  
1. 学校を知る  
2. 保護者全員にアプローチ  
3. 生徒に価値を  
が2023のテーマです。

終わりに、本年度、会長特別企画をいくつか考えています。  
一つは、不登校について考える会の提供  
一つは、校長を知る会の提供  
です。  
こちらは会長の仕事というわけではないので、私が個人的に特別企画として進めようと思っております。  
一緒にしたいという人がいれば個人的にお知らせください。

PTA活動は案外難しいです。  
バックグラウンドが同じ仲間と取り組んでいるわけではありませんし、  
お金を得るといった目的のために取り組んでいるのでもありません。  
丁寧にプリン超えで取り組んで成果をだしていきましょう。

以上で、話は終わりです。  
1年間どうぞよろしくお願いいたします。

2023年 武蔵PTA会長 守山算哉